飯南町におけるサービス・活動Cの導入

～生駒市・竹原市視察での学びを踏まえて～

飯南町保健福祉課
地域包括支援センター

理学療法士　嘉田将典

IINAN Health Welfare Section

飯南町公式ゆるキャラ
「いーにゃん」

島根県飯南町の概要（R7）

中国山地の中央部に位置し、標高1,000メートル級の山に囲まれた高原の町

○人口：4,251人（R 7.4.1現在）
　　65歳以上高齢者数：2,033人
　　高齢化率：47.82％

○世帯数：1,939世帯（R 7.4.1現在）
　高齢者のみ世帯数（R 7.4.1現在）：760世帯
　上記の内、独居世帯数（R 7.4.1現在）：401世帯

○出生数：8人（令和6年度）
　死亡者数：103人（令和6年度）

○介護認定者数：436名（R 7.3月現在）

飯南町トピックス

出雲大社大注連 2018/7/17奉納
2026年かけかえ予定

YOHAKU ARIMASU
IINANCHO
あります

奥出雲和牛

こしひかり

まいたけ

赤来高原りんご

IINAN Health Welfare Section

サービス・活動C事業実施の背景

◆地域包括支援センターとして一般介護予防事業（ポピュレーションアプローチ）と活動C事業（ハイリスクアプローチ）を両輪で進める必要性を感じていた。

◆かつて特定高齢者施策として短期集中型介護予防事業に取り組んだ経験があり、一定の成果があった。

◆高齢化・過疎化が進む中で社会資源を活用しながら地域支援事業を連動させることの重要性が増していた。

◆先進地の取り組みを知る機会があった。（令和６年度中国5県地域包括ケアシステム推進セミナー・奈良県生駒市/広島県竹原市の視察研修）

飯南町におけるサービス・活動C事業概要1

■事業名：飯南町まめな塾プラス

■実施期間：令和7年10月～令和8年1月・令和7年12月～令和8年3月（全24回）

■定員：若干名

■会場：保健福祉センター（送迎あり）

■実施主体：直営

※令和7年度は一般介護予防事業として実施。

IINAN Health Welfare Section

飯南町におけるサービス・活動C事業概要2

■対象者の選定：地域包括支援センターにおける新規相談ケース・飯南町社会福祉協議会および飯南病院からの情報提供。一体的実施事業の活用。

■スタッフ体制：飯南病院・飯南町社会福祉協議会・飯南町保健福祉課で一体となって実施。
（雲南保健所・雲南広域連合からの支援あり。）

■プログラム：24回のスケジュールの中で前後評価・地域ケア会議・専門職の講話・社会資源に関する情報共有・運動指導・フィードバックを組み込んだ内容とした。

実施にあたり工夫したこと

◆楽しみをプラス

→町内の講師をお願いして多肉植物寄せ植え体験

◆町で行っている通いの場体操ツールを活用

→事業終了後に通いの場で継続できる仕組み

◆事前の家屋訪問・地域ケア会議（３回）を実施

→環境チェックとその後の生活を考える仕組み

事業を通じて提案した
１クール目の参加者のこれから

A さん
80代男性

広島駅を訪れたい。
片足立ち・バランス改善。立ちすわりの改善。
心不全で入院の既往あり。体力低下あり。

→ 近隣で通いの場への参加を提案。現在行っているサロン参加など地域活動の継続。

B さん
80代女性

姿勢を良くしたい。
足の痛み軽減・
早く歩く・腰痛の軽減

→ 近隣で開催している通いの場への参加を提案。現在行っている編み物教室への参加継続。

C さん
80代女性

体力をつけたい。冬期間は通いの場が休止中。
物忘れの進行あり。

→ 春になるまで通所介護サービス利用を提案。地域内で行う送迎付き通所サービスの必要性をSCと協議。

IINAN Health Welfare Section

取り組んでよかったこと

◆３ヶ月伴走支援の中で「どんな支援が必要か」「本人のこれから」を一緒に考えることができた。

◆利用者同士の交流が生まれ、介護予防に向けたリーダー育成・仲間づくりの機会になった。

◆（直営実施で大変さもあったけど）関係機関・町内の専門職が共に取り組むことで、地域課題の共有と取り組みに向けた体制づくりの一助となった。

来年度取り組みたいこと

◆事前に設定した「個人目標」を深掘りするためのプログラムのブラッシュアップ

◆事業への参加が必要な対象者をどうやってスクリーニングしていくか。また、タイムリーにC型事業につなげる仕組みづくり。

◆地域ケア会議で検討した「今後の生活に向けた助言・提案」を本人・家族に適切に伝えたい。

しまねリハビリテーションネットワークロゴマーク・ミッション

その人らしく”生きる・活きる”地域を目指して

リハビリテーションとはどのような状態であってもその人らしく「生きる」「活きる」ための取り組み全てを意味します。私たちは地域住民・行政関係機関・多くの専門職団体等と連携を深め、この取り組みを地域ごとに進めることで多様な人々が共に希望を持ちながら暮らすことができる社会を目指します。

しまねリハビリテーションネットワーク
SHIMANE REHABILITATION NETWORK

しまねの緑豊かな地域をイメージし基本の配色は緑です。島根県の表現では中央の茎を「し」とデザインしました。「共に学ぶ」「共に動く」「共に育て・支える」ことを三士会が連携する姿として、三つ葉のクローバーを選びました。植物は組織が育つイメージにもなり、三つ葉のクローバーには「約束」という花言葉があります。さらなる発展を約束するというメッセージを込めています。

7つの職能推進局ブロック紹介（2次医療圏域ごと）

協力団体・構成団体

協力団体

- 島根県医師会
- 島根県歯科医師会
- 島根県薬剤師会
- 島根県栄養士会
- 島根県老人保健施設協会
- 島根県訪問看護ステーション協会
- 島根県介護支援専門員協会
- 島根県社会福祉士会
- 島根県歯科衛生士会
- 島根県地域包括支援センター連絡会
- 島根県医療ソーシャルワーカー協会
- 島根県在宅保健師等の会

構成団体

- 島根県理学療法士会
- 島根県作業療法士会
- 島根県言語聴覚士会

まとめ

◆必要な方に必要な支援が出来るように様々な事業を連動させること。社会資源と地域の専門職の活用を進めたい。

◆地域に張り巡らす「目」と「継続性」を事業の中で構築したい。

◆余白を大切に。

ご清聴ありがとうございました。

IINAN Health Welfare Section